

技術の名称

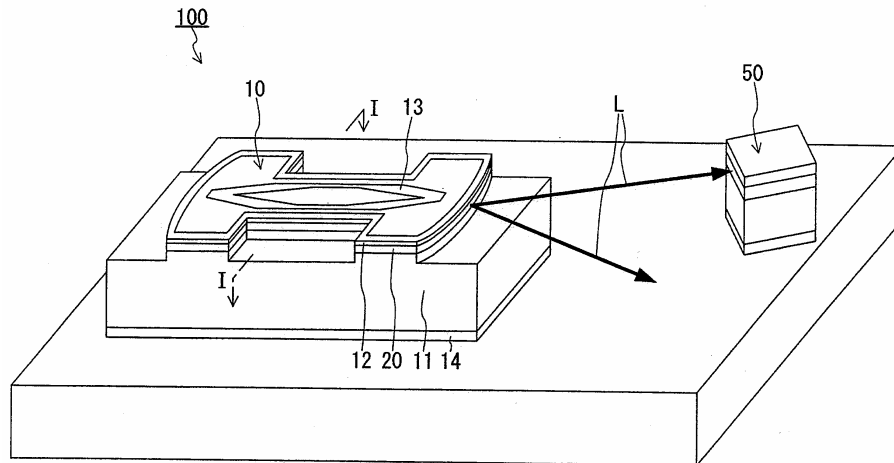
半導体レーザジャイロ

適用分野

光ジャイロ、半導体レーザジャイロ、半導体リングレーザジャイロ

- 目的 干渉縞を用いることなく回転の角速度を求める。
- 効果 本発明によれば、干渉縞を形成しなくても回転の角速度を求めることが可能であり、その結果、干渉縞を形成するための光学系が不要で構成が簡素化されるとともに、干渉縞の移動の消失による低速回転時における回転角速度の消失がなく、低速角速度の検出ができる。
- 技術概要 本発明に係る半導体レーザジャイロ100は、レーザ光Lを発射する半導体レーザ10と、レーザ光をモニタする光検出器50とから成り、半導体レーザ10は、半導体層20内にキャビティを構成しており、そのキャビティは、活性層内の仮想の多角形の経路を周回するように光を反射することが可能な端面を備えており、レーザ光Lは光検出器50でRF帯域におけるスペクトルの強度とピーク周波数が検出され、それらに基づいて回転角速度が求められる。

■ 特記事項,図など



- 主たる提供特許 特許等の名称 : 半導体レーザジャイロ
登録番号 :
出願番号 : 特願2007-080662 出願日 : 平成19年3月27日
公開番号 :
- 実施実績 ○有、無 ■ 提供形態 ○実施許諾、×権利譲渡

お問合せ先 株式会社 国際電気通信基礎技術研究所(ATR) 経営統括部 知的財産チーム
〒619-0288 京都「けいはんな学研都市」光台二丁目2番地2
TEL 0774-95-2521 E-mail ; patent@atr.jp